

カビ毒検査のご案内

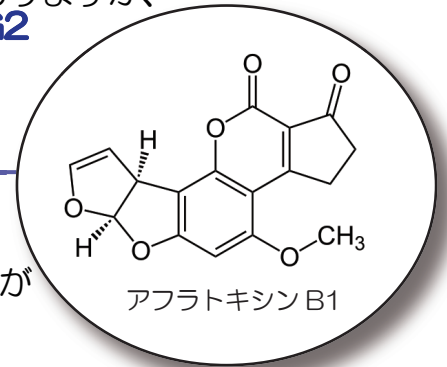


2011年10月1日より、総アフラトキシン（カビ毒）について、10ppbを超えて検出するものは、食品衛生法第6条第2号に違反するものとして取り扱うことになりました。

この法改正を受け、東海技術センターでは、安全・安心な食品の生産・流通を支援するため、総アフラトキシンを始めとするカビ毒の検査を行っております。

アフラトキシンとは

1960年代にイギリスで大量の七面鳥が死ぬ事件が起こりました。その七面鳥からAspergillus flavusというカビが産出するtoxin（毒）が検出されたため、アフラトキシン（Aflatoxin）と名づけられました。アフラトキシンは、現在発見されているもので約16種類ほどありますが、そのうち農産物に汚染するアフラトキシンは、**B1、B2、G1、G2**であり、これらは**総アフラトキシン**と呼ばれています。



人体に及ぼす影響

アフラトキシンB1は、天然で存在する物質の中で最強の**発がん性物質**とされています。急性中毒の例としては、1974年にインドで肝炎のため106名が死亡した事件がありました。

何に含まれている可能性があるのか

発生源がピーナッツ、コーングリッツなどであり、ほとんどが海外の事例になります。これまでは輸入品のみ検査をしていれば大丈夫だと思われていましたが、実際には国産品の汚染の可能性も心配されています。

- | | | | |
|--------|----------|--------|-----------|
| ◎落花生 | ◎チョコレート | ◎ピスタチオ | ◎ハトムギ |
| ◎そば | ◎香辛料 | ◎ココア | ◎ピーナッツバター |
| ◎アーモンド | ◎コーングリッツ | | |

分析項目、料金および納期

項目	料金（税抜き）	納期
総アフラトキシン	20,000円	2週間
ニバレノール	25,000円	
ゼアラレノン	25,000円	
DON（デオキシニバレノール）	25,000円	
T-2トキシン	25,000円	
HT-2トキシン	25,000円	

※試料は持ち込み、またはご郵送ください。

分析は東海技術センターにお任せください！



一般財団法人
◎TTC 東海技術センター
☎ 052-771-5161
FAX: 052-771-5164
担当：松井、岩下